

令和3年4月18日

令和3年度菟園自治会活動計画

(活動と運営の基本方針)

菟園自治会
会長 鈴木 喜明

菟園自治会は、より安心、安全で住みよい地域にするため、防災、防犯、ごみ問題等暮らしの身近な課題を地域の皆様や行政と連携し解決に向け取り組んでまいります。また、自治会活動を通じて、同じ地域に住む人同士が絆を深め、心の通い合う地域にしていきたいと思っています。

昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大により、昨年度は多くの自治会事業が中止や変更を余儀なくされ、地域コミュニティも制限されました。

緊急事態宣言が本年3月21日に解除されましたが、感染拡大の懸念や変異株への警戒も必要となっています。また、ワクチンの接種が本年3月から開始されましたが、全体に行き渡るには来年になるとの予測があり、今後もマスクの着用や手洗いの励行、三密の回避等の対策の継続が必要となっています。

このため、令和3年度の自治会事業も新型コロナ対策を十分にした上で事業を実施していきたいと思っておりますが、感染拡大防止の観点から、多くの方が集まる事業については中止や変更せざるを得ません。

令和3年度の活動計画の主催事業では、組長総会の書面表決への変更や納涼盆踊り大会の中止、敬老会のお楽しみ券対応への変更等、協賛事業では、三島大神祭礼・浜降祭や愛の輪フェスティバル、市長が出席し地域の課題解決に向けた市民集会等が中止となっています。新たな事業としては、委員研修として防災、環境施設への視察研修を実施し、防災や環境の意識を高め、地域活動に生かしていただきたいと思っています。その他の計画事業も感染状況等を確認しながら実施の有無を判断していきます。

予算では、自治会館が築約30年となり劣化が目立ってきましたので、屋根や壁面の補修やペンキ塗装を実施し、多くの皆様が集いやすい明るい雰囲気施設のいたします。そのため、本年度は会館建替え定期預金は積み立てません。

今後、コロナ禍での自治会運営の在り方を見直す必要があります。会員の皆様や関係団体のご意見をいただき、活動や運営に生かしていきたいと思っております。役員一同、全力で取り組んでまいりますので、会員の皆様には、ご理解とご協力をお願い申し上げます。